

I 目指す学校像（基本理念）

- 生徒一人ひとりが、あけぼの学園高校の生徒として「自信と誇り」を持ち、地域に貢献し地域から信頼される学校を目指す。

II 現状と課題

- 生徒の授業に取り組む姿勢や集会での態度は向上しつつある。しかし、学校や社会のルールを守る規範意識が低く、学力的にも中学校までに様々なつまづき体験を持つ生徒も少なからずいる。このため、基礎学力の定着により、社会で生きていく力を育むとともに、部活動や資格取得に積極的にチャレンジし、達成感と自信を持たせる取り組みが大切である。
- 地域社会での本校への評価は年々良くなっている。地域との交流・協働活動を更に活性化し地域からの理解・支援・信頼を得ることで、生徒一人ひとりが自信と誇りを持てるような取り組みが求められる。
- 様々な課題を持つ生徒に対して、保護者・地域・関係機関等と連携を図り、きめ細かな教科・生徒指導を行っている。一方で勤務時間終了後も遅くまで学校に残り仕事に追われる教職員もいる。教職員が心身ともに健康で、やりがいを持って職務を遂行できる職場環境を構築する必要がある。

III 中長期的な重点目標

- 1 基礎学力・基本的生活習慣・コミュニケーション能力を向上させ、部活動・資格取得に積極的にチャレンジすることで、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
- 2 学年通信・学校通信等の情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。
- 3 学校行事・会議・部活動等の精選・見直しを行うことで総勤務時間の削減を図り、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるよう努める。

IV 本年度の計画

- | |
|--|
| 1 基礎学力・基本的生活習慣・コミュニケーション能力を向上させ、部活動・資格取得に積極的にチャレンジすることで、生徒一人ひとりの進路実現を図る。 |
|--|

（組織能力の向上）

- (1) 学年・分掌との情報共有・連携を深め、共通理解のもと組織的対応ができるよう努める。
(取組指標：提案・課題について検討する組織・期限を整理し、計画的な運営を実施する)
(達成指標：「教職員アンケート」の組織能力の向上に関する学校経営数値が70以上)
- (2) 生徒の実態に即した授業改善を目指し、「なかみ」の指導を充実させる。
(取組指標：授業公開や授業研究に係る研修会を複数回実施する)
(達成指標：「教職員アンケート」の授業力向上に関する学校経営数値が60以上)

（教科指導）

- (1) 教科担任・クラス担任との連携を密にし、授業規律を高める。
(取組指標：組織的に取り組めるようイエローカードを出す基準を明確にし、職員に周知する)
(達成指標：「教職員アンケート」の授業規律に関する学校経営数値が60以上)

（生徒指導）

- (1) 全職員が一丸となって、頭髪・服装指導等、「そとみ」の指導を徹底する。
(取組指標：校内のあらゆる場所・場面において、全職員が同じベクトルで指導する)
(達成指標：頭髪・服装等の指導生徒数が昨年度を下回る)

(2) 生徒が遅刻・欠席せずに授業に臨むよう規範意識を高める。

(取組指標：怠学を徹底指導するとともに、遅刻常習者には教務部・生徒指導部・学年が共同で個別に指導、保護者と緊密に連携しその防止・減少に努める)

(達成指標：朝遅刻・授業遅刻とも、総件数が昨年度を下回る)

(3) あいさつを行い、約束事やルールを守れる生徒を育成する。

(取組指標：通学路や校内において、大きな声で元気よくあいさつができるよう指導する)

(達成指標：「生徒アンケート」であいさつに関する学校経営数値が70以上)

(進路指導・生徒指導・教科指導)

(1) 部活動・資格取得へのチャレンジを推奨する。

(取組指標：集会・ホームルーム等で部活動・資格取得への挑戦を奨励する)

(達成指標：部活動をしている生徒数、各種資格取得試験の受験者総数が昨年度を上回る)

(進路指導)

(1) 生徒一人ひとりの進路の実現を目指す。

(取組指標：進路相談、課外学習、面接指導等を行う。進路講演会を行い、保護者とともに生徒進路希望を実現する)

(達成指標：「生徒アンケート」の進路指導に関する学校経営数値を70以上)

2 学年通信・学校通信等の情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。

(総務・教務)

(1) 地域住民に本校の教育活動等をより良く知っていただき、地域との交流を推進する。

(取組指標：学校通信の発行と、学校行事・授業・ボランティア等を通じた地域交流を推進する)

(達成指標：学校通信を年間3回発行、地域交流の取り組みを年間5回以上、「地域住民アンケート」の学校理解に関する学校経営数値を50以上)

(キャリア教育)

(2) 生徒の実態に即した系統的なキャリア教育のプログラムを策定し、実施する。

(取組指標：自分の生き方を踏まえた勤労観や職業観が身につくよう「産業社会と人間」、「総合研究」の授業内容を充実させる)

(達成指標：「教職員アンケート」のキャリア教育に関する学校経営数値が60以上)

3 学校行事・会議・部活動等の精選・見直しと総勤務時間の削減を図り、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるよう努める。

(総務・教務)

(1) 教職員が生徒と向き合える時間や部活動の指導時間を確保するため、業務の効率化を図る。

(取組指標：学校行事・各種委員会の精選・見直しを行う)

(達成指標：「教職員アンケート」のやりがい感に関する学校経営数値が60以上)

(2) 教職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。

(取組指標：定時退校の推進と定時退校デーの設定、年休取得数15日以上)

(達成指標：「教職員アンケート」の職場環境に関する学校経営数値が70以上)